

【発売前重版決定！】

オレンジページより、くどうれいんの最新刊

待望の食エッセイ『湯気を食べる』3/4 刊行

株式会社オレンジページ(東京都港区)は、エッセイ、短歌、小説など、幅広い分野で活躍する注目の作家・くどうれいんの最新刊『湯気を食べる』を 3 月 4 日(火)に刊行します。待望の最新作は、「食えること」にまつわるエッセイ集。生活情報誌『オレンジページ』の人気連載「いつだってまかない」と「河北新報」での東北エッセイ連載、書き下ろしを含め、全 48 話を収録しています。



くどうれいん『湯気を食べる』(帯あり)



くどうれいん(撮影:表萌々花)

注目の作家・くどうれいんの〈今〉を感じられる食エッセイ

デビュー作『わたしを空腹にしないほうがいい』で食エッセイの新しい世界を提示し、その後、『桃を煮るひと』で広くその存在を知らせた、作家・くどうれいん。生活情報誌『オレンジページ』で連載「いつだってまかない」(*)がスタートすると、そのコラボが話題となりました。このたび、この連載をベースに、「河北新報」で連載されていた「ごきげんポケット」や、書き下ろし 27 本を加えた、「食えること」「自炊」にまつわるエッセイ集を刊行。くどうれいんの〈今〉を感じられる 1 冊です。

※2024 年 6 月 17 日発売 7 月 2 日号より隔号連載中

やはり湯気の前に立つと、ああ、生きていると思う。

これまでよりもずっと自分の暮らしに（いいじゃん）（こんなもんじゃん）

と思えるやわらかい夜が増えた。三十歳になって厨に立つと、

十代のわたしも二十代のわたしも横に並んでいるような気がする。

（本書「おわりに」より）

くどうれいん

作家。1994 年生まれ。岩手県盛岡市出身・在住。著書にエッセイ『わたしを空腹にしないほうがいい』（BOOKNERD）、『コーヒーにミルクを入れるような愛』（講談社）、『うたうおばけ』（講談社文庫）、『桃を煮るひと』（ミシマ社）など。中編小説『氷柱の声』で第 165 回芥川賞候補に。

【目次】

第一章 湯気を食べる

湯気を食べる/ディル？/それはまかない/南国の王様/愛妻サンド/アイスよわたしを追いかけて/福岡のうどん/鍋つゆ・ポテトチップス/棚に檸檬/白いさすまた/すいかのサラダ/くわず女房/ぶんぶん/庭サラダバー/手作りマヨネーズ/おどろきの南蛮漬け/かに玉ごはん/いい海苔/すだち/寿司はファストフード/シェーキーズってすばらしい/ピザは円グラフ/醤油はいずれなくなる

第二章 風を飲む

萩の月/ほや/菊のおひたしと天ぷら/せり鍋/わかめ/うーめん/笹かまぼこ/お米は貰うもの/きりたんぽ/たらきく/風を飲む

第三章 自炊は調律

自炊は調律/たまご丼/パン蒸し/好きな食べもの/献立は大行列/つくりおけぬ/ねぎとろ/ナッツと言いたかった/柿ピーの短刀/自炊の緑白黒赤/くる/スナッブえんどう/渡したいわたし/お花見弁当
おわりに

くどうれいん『湯気を食べる』

2025 年 3 月 4 日(火)刊行 定価 1,760 円(税込)

四六版、アジロ綴じ、212 ページ <https://www.orangepage.net/books/1903>

<このリリースに関するお問い合わせ先>

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 16F 株式会社オレンジページ

総務部 広報担当: 遠藤 press@orangepage.co.jp

【2/2】